

◆平成 26 年度「すみだの力応援基金」助成事業 事業概要一覧

	【団体名】 事業名	事業内容の概要
1	<p>【特定非営利活動法人 マイフェイス・マイスタイル】 「見た目問題」アドボガシー事業～地域のみなさんとともに～</p>	<p>区内 6 カ所で「見た目問題」写真展を開催。その際、準備段階から地域のみなさんに参加してもらい、「見た目問題」への理解を深めると共に、「見た目問題」当事者と地域住民とのつながりを構築する。</p> <p>開催場所も、地域住民が頻繁に利用する会場や、建物の玄関ロビー等にするなど、「見た目問題」を知らない人たちも偶然遭遇するような工夫を凝らす。</p> <p>さらに、区内在住の当事者を被写体とし、撮影も区内で行って新しい写真パネルを作成し、地域住民にとって、より身近に感じてもらえるよう図る。</p>
2	<p>【すみだ子育てメッセ 実行委員会】 すみだ子育てメッセ 2014</p>	<p>墨田区内の全子育て世帯を対象として、「すみだ子育てメッセ」を開催する。メッセでは講演や、ワークショップ、座談会やステージ等の催しを用意し、乳幼児連れでも親子で楽しめる場を提供する。また、孤立しがちな育児中の人達が繋がるきっかけとなるような場とし、地域の子育て情報を提供する。育児において、「楽しんで、知って、繋がって」もらうことで、虐待防止や少子化改善の一助とすることを目指す。</p> <p>メッセを開催する子育て支援団体同士も協働することで、墨田区内でより良い子育て支援活動を実施できるようにする。</p>
3	<p>【NPO法人 燃えない壊れないまち・ すみだ支援隊】 ふじのきさん家食と暮らし の交流・居場所づくり事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度開催したすみだ社会福祉協議会、むこうじま高齢者みまもり相談室と連携して取り組む「お茶会事業」の発展版。 ・レシピ開発した「ふじのきさん家の食事」を地元スタッフ等が調理。参加者は健康的で家庭的なお食事を頂いた後、協力団体と連携して行う福祉の小ばなしや講師を招いての講座やワークショップに参加する。楽しい時間を共有することでスタッフや参加者同士の交流を深め守りあう関係性をつくること、専門家等への相談出来る場をつくることで安心できる暮らしをサポートしていく。

	【団体名】 事業名	事業内容の概要
4	<p>【NPO法人向島学会】 吾嬭地域の歴史を探り、学ぶ事業 『吾嬭を読み解く「むら（聚）」「みち（流）」「かて（業）」』</p>	<p>吾嬭地域内の成人を主な対象として、「むら」「みち」「かて」をテーマにしたワークショップをおこない、現地調査のまち歩きで確認作業を行う。</p> <p>各々のテーマでワークショップとまち歩きをおこなった後、吾嬭の歴史を統合するためのシンポジウムを開催する。また、本事業の成果を反映し、吾嬭地域全体の歴史を概観できるリーフレットを作成する。</p> <p>（「むら」とは、「聚落」「コミュニティー」の意味。「みち」は「流通」で「道路・水路・鉄道」等の意味。「かて」は「業」で「仕事・産業」等の意味。）</p>
5	<p>【39 アート in 向島 実行委員会】 39 アート in 向島 2015</p>	<p>これまでの5回の開催では、エリア内の約10企画を3月中の土日に実施する「ネットワークプロジェクト」を行ってきたが、次回では新たに、ネットワークプロジェクトの他に1名（または1組）現代アーティストを招聘し、地域で作品を作ってもらおう。</p> <p>◇ネットワークプロジェクト</p> <p>3月中の主に土日に、向島エリア（墨田区北部、東向島、京島、八広、文花、墨田など）のギャラリー、カフェ、アトリエなどで、アート・ものづくりを用いた展覧会、ワークショップ、イベント、まちあるきなどを同時開催する。</p> <p>地図入りチラシを配布広報し、区内外のお客様の周遊を誘う。</p>
6	<p>【すみだすみずみほりおこし隊】 「へえ」でつながるすみだの輪「すみだトリビアすごろく」企画・開発・普及事業</p>	<p>墨田区民と墨田区を訪問してくれる人達が、面白くてタメになる「すみだのトリビア情報」を知り、楽しんでもらえるようなコミュニケーションツールの企画・開発・普及事業を実施する。</p> <p>A. 「すみだトリビアすごろく」の開発と普及（普及版と点字版の2種）</p> <p>B. 墨田区内の子供達を対象に、「お正月すごろく大会」を実施する。（2015年1月中2回予定）</p>

	【団体名】 事業名	事業内容の概要
7	【六三四塾】 634サミット	墨田区の現状や将来を真剣に考える場を求める人達や、墨田区に関心を持つ人達に対して、墨田区の歴史や現状などを把握する学習をすると共に、東京スカイツリーの高さである「634」に因む多くの価値観を発表する場を設ける事で、多角的な認識・評価を持ち、地域の商業や観光に継続的に貢献するヒントを見付けたり、波及効果のあるアイデアに触発される機会を提供しながら、今後も長期に亘り「東京スカイツリー」と密接に関わる墨田区が、より良くなる道を考える。

※上記、事業内容の概要は、各団体の実施計画書の記述のまま掲載しています。